

第6回森林組合改革・林業事業体育成検討委員会の主な意見

(改革に向けて(まえがき))

- 民間事業体と林業事業体を使い分けているが、一般の人にもわかるように定義づけした方がよいのではないか。
- 初めて「民間事業体」と出てくるところに(森林組合以外の林業事業体)と括弧書きで入れたらどうか。
- 1 ページの 2 段落目、下から 2 行目、「森林組合は、一般の民間事業体(森林組合以外の林業事業体)と比較して」と括弧書きを入れることでよいか。(異議なし)

(施業の集約化)

- 「全国集約し、結果をフィードバックしながら取組を推進する必要」というのは、10 月 26 日の全国森林組合大会で決議されているので、「推進していくことになっている」としてもいいのではないか。
- 既に森林組合ではそういう方針を決めており、「取組を推進していくことになっている」ということで、既成事実化しているので、これはそのように修正。
- 「一定の支援が必要である。」とあるが、もう少し積極的な表現にできないか。
- 「一定の」という言葉を変えることはかまわないが、趣旨としては、自助努力を応援するという表現であることが必要。
- 「効果的な」という言葉が出たが、特に異論なければ、「効果的な支援が必要である。」ということよいか。(異議なし)
- 「森林境界の明確化」と「森林の境界の確定」とは違う意味のようだが、登記できるところまでやるのが確定で、明確化は立木等で境界を確認するものであるが、ここは明確化という使い方でもいいのかどうか。
- 施業集約化の促進には、基本的には境界の確定まで至らなくても、事業実行が可能なレベルで確認できればということなので、「明確化」がいいのか、「確認」がいいのか、揃える必要がある。
- 地積調査は「確定」するわけだが、施業集約化は簡素化したもので、「明確化」ということで使い分けているということだが、そうすると、「確定」にはできないので、「確認」ということでよいか。(異議なし)
- 「積極的な方策の行う必要」ではなく、「積極的な方策の検討を行う必要」ではないか。

○「積極的な方策の行う必要」というのが、あまりいい言い方でないので、「積極的な方策を講ずる必要」ということでよいか。(異議なし)

○資料(参考)の概要版も、「一定の支援が必要」と書いてあるが、これは「効果的な」に修文が必要。

○概要版で「国土調査」と書いているが、「地籍調査」とすべき。

○最終とりまとめ(案)の要約なので、本文に合わせて「地籍調査」に修文。

(森林組合と民間事業者とのイコールフットイング)

○資料(参考)の概要版について、(1)の1ポツと2ポツでは同じことを2回言っているようだが。

○概要版は、最終とりまとめ(案)の本文で書いたものを縮小して項目だけ書いたもので、そのように見えるのではないか。「このため」とか、「具体的には」を入れたらどうか。

○概要版の(1)も(2)も同様であるが、2ポツ目に「このため」を入れることでよいか。(異議なし)

○イコールフットイングについては、前からも言っているように、民間事業者には情報がなかなか伝わらない。情報を民間事業者までうまく流す方法を、どこかに盛り込んでいただきたい。

○これから林業事業者の登録情報を整理していく中で、林業事業者へ効果的にきちんと届くようやりたい。

(森林組合関係)

○「組合員の付託」は、「組合員の負託」の間違い。また、「他の組合員の森林の施業集約化」と「の」が3つあるので、「他の組合員の森林に係る施業集約化」としてはどうか。

○「付託」は、「負託」でよいか。また、「森林の」を「森林に係る」に変えるということでもよいか。(異議なし)

○「キャッシュフロー作成の義務化」というのは、日本語として少しおかしい。「キャッシュフロー計算書」とあるが、キャッシュとフローの間に「・」を入れるべき。

○「キャッシュ・フロー」ということで、「・」を入れることでよいか。(異議なし)

○「キャッシュ・フロー作成」という言い方がおかしいとすれば、「キャッシュ・フロー明示の義務化」ということでよいか。(異議なし)

○3行目の「作成」も「明示」と修文。(異議なし)

○5行目の「作成マニュアル」のところは、もともと「作成」がかぶっていることもどうかと思うが、

「明示マニュアルの作成」とするのか。

- 一般的に企業内容を開示するということで、会計的には「明示」という言葉は普段使わない。敢えて「明示」と入れる必要はないのではないか。
- 「また、マニュアルの作成等の指導・普及方法について」としておくので、私と事務局に修正を任せたい。（異議なし）
- 資料(参考)の概要版について、「組合員の森林について周辺の森林も巻き込んだ」という表現は、組合員以外の森林も集約化の中に含むということが読み取りづらい。
- 最終とりまとめ(案)では、「組合員の森林について周辺の組合員以外の森林も巻き込んだ」となっており、誤解が生じないよう「周辺の」次に「組合員以外の」を入れたらどうか。（異議なし）

(林業事業体の育成)

- 「事業量の変化も大きい」とは、事業量の季節的な変化なのか。変動の方が分かり易いのではないか。
- 「変化」でも「変動」でもよいが、予算上の補正による発注や植え付け・下刈りなどの季節的な発注ということで発注の平準化は厳しく、事業量が波を打つことを「変化」としたところ。
- 発注時期については、これまでも議論してきたが、ここは、「事業量の変動も」ということでよいか。（異議なし）
- 「使いやすい成果として」とあるが、イメージとしては出版物みたいな成果物であり、「使いやすい成果物として」としてはどうか。
- 資料(参考)の概要についても、同様に「使いやすい成果物として」でよいか。（異議なし）

(その他)

- これから「最終とりまとめ」に基づいて改革が行われていくことになるが、何らかの形でフォローアップを図られるような機会をつくった方がいいのではないか。
基本政策検討委員会ではPDCAをしっかりとやっていくことを考えており、チェックをする機会が設けられる可能性があるが、それとは別に、本委員会として私自身、濃密な議論ができたと思っており、この委員の方々に、ボランティアでもいいが、例えば、1年に1回ぐらいは集まって、その後、政策がどうなったのかを、内部委員も交えて議論の場を作ることが重要と考えており、本文に盛り込んだらどうか。
確定した文ではないが、「なお、以下に述べる委員会での議論の結果については、今後も定期的に委員内で検討する機会の場を設けることを望みたい。」とか、修文の必要はあるが、何らかの形で意見交換する場を今後も設けることを要望するという内容を付け加えてはどうか。（異議なし）

○基本政策検討委員会の関係では、最終的には、政務に諮りたい。何らかのフォローアップをする形で、毎年PDCAをしっかりとるような仕組みを考えていきたい。

○本日、議論した「森林組合改革・林業事業体育成検討員会最終とりまとめ(案)」等については、文章の修正等で若干変わりますが、基本的には、この内容でお認めいただいたということで、よろしいか。また、文章の修正等は、座長に一任いただけるということでよろしいか。(異議なし)

以上